

平成28年度 指定管理者評価表

【別紙5】

施設名：河内長野市立林業総合センター

指定管理者名：大阪府森林組合

1. 個別評価

評価項目	評価の視点	自己評価	市評価
サービスの提供	施設の設置目的に沿って平等利用が確保されたか。	A	A
	施設の設置目的に沿ってサービスを提供しているか。	A	A
	利用時間、利用日、利用期間は遵守されているか。	A	A
	利用者に対する情報提供、情報発信は適切か。	S	A
	利用の承認、案内等は適切かつ迅速か、また接遇は適切か。	A	A
	利用者のニーズを把握し、改善、工夫を行っているか。	A	A
	施設の利用率は適正な水準にあるか。	B	B
	苦情等の対応は迅速かつ適切か、また市に迅速に報告しているか。	A	A
	指定管理者が行った自主事業は、市民サービスの向上に役立ったか。	S	A
施設等の維持管理	不具合が生じた場合の市への報告は適切か。	A	A
	建物躯体及び設備機器の点検・保守、安全確認等は適切か。	A	A
	修繕は適切か。	A	A
	備品の管理は適切か。	A	A
	清掃、警備、衛生管理は適切か。	A	A
労務状況	サービス提供及び施設の維持管理のため、計画どおり適正な人員が配置されているか。	A	A
	勤務体制が、勤務者の休暇、休憩等の取得が適正か。	A	A
	必要な専門的資格、技術を有する人材を確保しているか。	A	A
	従業員に対して、計画的、効果的な人材育成を行っているか。	A	A
危機管理	緊急時に備えた、体制、対応マニュアル、研修・訓練等は適切か、また、防火、防犯体制の整備、研修、訓練等は適切に行われているか。	A	A
	災害、事故、盗難等の発生時に迅速な対応ができる組織体制と連絡体制になっているか。	A	A
	利用者の安全は確保されているか。	A	A
個人情報	個人情報保護のための体制、書類等の整備・保管、問い合わせ等への対応、研修は適切か。	A	A
	個人情報保護及び情報公開に関する関係法令を理解しているか。	A	A
	万が一、個人情報が流出した場合の対応が検討されているか。	A	A
財務状況	管理に要する収支は適正に保たれているか。	A	A
	支払いの遅滞は生じていないか。	A	A
	使用料、利用料金収入は計画どおりか。収入の増加が図られているか。	B	B
	現金は適正に取扱われているか。	A	A
	経費は縮減されているか、または、縮減に向けての努力がされているか。	A	A
	業務を外部委託している場合、その業務は施設管理の主要な部分以外であるか、過度に外部委託にシフトしていないか。	A	A
その他	省エネルギー、省資源、環境配慮物品等の購入など環境への配慮はなされているか。	A	A
	良好な関係を保つべき関係団体や地域との連絡調整は適切か。	S	S
	管理に要する法令は適正に遵守されているか。	A	A
	市との定例の連絡調整の機会が確保されているか。	A	A
	事業計画書（申請時）および年間事業計画書どおりに管理がなされているか。	A	A

評価欄の説明

- S：協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。
- A：協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。
- B：協定等を遵守し、概ね仕様書に沿った管理が行われたが、一部に課題がある。
- C：一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。

2. 収支報告

単位:円

		事業計画A	事業実績B	A-B	前年度実績	備考
収入	利用料金収入	1,161,000	427,700	733,300		
	自主事業収入	2,160,000	3,309,274	-1,149,274		
	物品販売収入			0		
	手数料収入			0		
	指定管理料	10,914,100	10,914,100	0		
	その他収入			0		
	収入総額	14,235,100	14,651,074	-415,974		
支出	人件費	9,178,000	9,311,769	-133,769		
	事務費	2,007,100	2,237,465	-230,365		
	管理費	679,000	392,240	286,760		
	自主事業経費	1,791,000	1,566,288	224,712		
	光熱水費	580,000	606,383	-26,383		
	リース料	0	0	0		
	その他			0		
	支出総額	14,235,100	14,114,145	120,955	0	0
収支差額	0	536,929	-536,929	0	0	

3. 総合評価

自己評価

- ・料金制の変更による従来顧客の減少は予想以上で利用者・利用料収入は計画を下回ったが、回数券の導入など新規顧客も着実に増えてきている。利用料収入の減は、自主事業での500円ワンコインDIY商品の設定や新しい販売品の充実、外部イベントでの販売等による売上増によりカバーすることができた。丸太や輪切りなど山から直結した商品の販売は今までになく、また森林組合特有の商品で好評となった。
- ・人員体制を強化し、SNS等を活用した広報、情報発信の充実、くろまろの郷周辺施設をはじめ外部組織・団体との積極的な連携や外部イベントへの出展参加を行うことができた。このような広報PR活動の積み重ねにより、今後の来館者数の増に繋がるものと考えている。今までは河内長野市内を中心とした広報であったが、大阪市内でのPRや連携によるより都市部からの集客にも注力した。
- ・林業者向けの取組である林業研究グループの若手メンバー育成についても、参加者が徐々に増え、成果が出てきている。
- ・館の維持管理や経理関係、また地域の森林・林業・河内材に関する事項において森林組合職員も必要により業務に参画することにより効率的な運営管理ができています。

市評価

平成28年度より利用料金制への変更に伴い料金改正も行われた。実質的な値上がりになったため、従来の常連顧客の減少などが発生したが、ワンコインキット等の新木工キットの開発により、新規顧客は増加したと思われる。また、SNSによる発信も充実させ、情報発信の機会も増え、木のある暮らしの魅力発信を行えている。本年度以降は、平成28年度に獲得した新規顧客を常連顧客に繋げるとともに、引き続き新規顧客獲得に尽力いただきたい。

今後は、森林所有者の相談窓口としての機能の充実や、木工だけでなく森林をフィールドにした活動についても検討していただきたい。